

同好会報告

釣り同好会

平成29年度の釣り会は、平成29年5月12日に久留和港(神奈川)から権兵衛丸でのアジ・サバ釣りの開催となりました。

6時30分に現地集合、7時出船の予定でしたが、定刻前に全員が集まり早めの出船となりました。

鎌倉沖での釣りとホームページにありましたが、アンカーを降ろして釣り準備を始めたのは江ノ島沖というほうが正確な感じでした。一般的な流し釣りでなく架かり釣りと呼ばれるやり方です。130号のアンドンビシにイワシのミンチをコマセとし、イカのアカタツ(食紅で着色したイカの細切れ)を針に刺して投下。着底から4メートル巻き上げ、コマセを振り出し、1メートル巻き上げ、当たりを待ちます。

群れを見つけての釣りとは違い付近の魚を呼び集めての釣りなので、なかなか当たりが出ません。コマセを3回くらい詰め替えてようやくサバが釣れました。本命のアジは釣れないものの徐々に大型のサバが釣れました。そのうちアジが釣れるようになったものの、ほとんどがサバの状況でした。

届近くになると船に大きな鮫(1.5メートル位)が付きまとう事態が発生。コマセカゴに噛みついたり、釣れた魚に喰いついたりで危険と判断した船頭さんの指示で釣り場所を移動することになりました。

移動後もほとんどがサバでアジはポツポツと連れるだけでした。それでもアジはかなり大きくて十分楽しめるサイズです。サバも大型が多く縦より横が大きいメタボ状態でした。

その後3時に沖上りとなり帰港。証拠写真の撮影、手洗いと帰り支度をしている時に蛸漁師さんと再会。実は出船前にタコツボを積み込んでいたご夫妻から漁の話を聞いたりしていました。そして帰港後にまた会えたのでサバが多かったと話したら、カレー粉で香り付けをして、から揚げ・あんかけが美味しいと教えてもらいました。お礼にサバをおすそ分けし、大変喜こばれました。船頭さんの奥さんが淹れてくれたお茶を飲み、カブキ揚げを食べ、アジの開きまで頂いて、釣り終了。

釣果は今一でしたが、元気の良いアジの引きを楽しみ、帰宅後にアジ・サバ・イワシの刺身と漬け、おまけにアジフライで美味しい酒が飲めた一日でした。普段の釣りではあまり喜ばない室内も大型のアジ・サバは喜んでくれたので、ほっとしたものでした。

アジよりサバメインの釣りとなってしまいましたが、それなりに楽しめたと思います。

冬にはハタハタ釣りに行きたいとの希望もありましたので、接岸時期を見ながら検討したいと思います。

伊豆稲取の鯛釣りも希望がありましたので、こちらも検討いたします。

今回の釣りは地主さんに全てお任せで設定してもらいました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



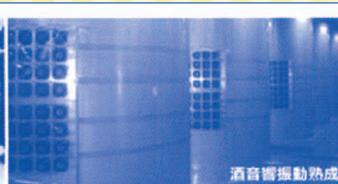
釣り同好会

代 表 田口 芳美 (昭和43年電気科卒)

連絡先 FAX : 03-5482-1385

携帯 : 080-6623-8147

E-mail : gja7fta@gmail.com



エンターティメント、リラクゼーション、音響振動熟成
体感音響の可能性は無限大です
バイジック

ACOUVE
ACOUSTIC VIBRATION
<http://www.acouve.co.jp>

株式会社アクーヴ・ラボ 代表取締役社長 今村 嘉男

バイジックコーディネーター 船木 一美

(昭和48年機械科卒)

お問い合わせは・携帯.090-3049-7291・E-mail kf-works@sea.plala.or.jp (船木)まで